

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハイタッチこくば			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 15日 ～ R7年 3月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	R7年 3月 10日 ～ R7年 3月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感・ワクワク感をもって通所できていること。全員参加が期待できる集団活動、レク活動の提供(集団レク等で体を動かし、体の動きをコントロールしながら運動でストレス等の気持ちの発散、気持ちのコントロール力、人間関係コミュニケーション力を身につけることができる)	・まず参加したい、楽しそう!と思える活動の提供(楽しめる場所、挑戦できる場所、安心できる居場所作り) ・子どもたちが楽しみながら参加できる遊びや運動療育を行い運動機能訓練を行いコミュニケーション能力向上に努めている。	保護者様のご協力もありお子様に合わせた療育が行えていると思いますが、子どもたちに“楽しそう”“ワクワクする”というもっとも重要な好奇心を高める為、日々の中でコミュニケーションを取り、職員のアイデアや児童の声・表情に注視しさらに活動の幅を広げ楽しんで頂けたらと思います。
2	子どもたちのことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援や個別計画作成、健康や発達状況について共通理解など。	日々職員間で話し合い、研修を重ね、一人一人の特性を理解するようにし、日々の出来事から、その日ごとに適切な支援が出来るように意識しています。常に正解がないので「本当にこの支援の方法で良いのか?」ということは保護者様や関係機関と情報共有を行い支援にあたっています。	上記重複しますが、子どもたちに“楽しそう”“ワクワクする”というもっとも重要な好奇心を高める為、日々の中でコミュニケーションを取り、児童の声・表情に注視し成功体験が得られるようより一層支援内容について考えていきます。
3	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。情報共有がなされているか。	ご家族やご兄弟が安心して子育てや家族関係の構築が行うことができるように、ご家族の子育てに関する困りごとに対する相談など職員とのコミュニケーションがとりやすい環境づくりを意識しています。	利用児本人、ご家庭、事業所、学校等の関係者、関係機関との連携を図り、ご家族やご兄弟の困りごとに定期的に聞き取れるような機会をさらに増やして行きます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援。	送迎時やモニタリング時など保護者様から困りごとなどについては聞き取りを行い、なるべく早く対応、助言、共有は行うように職員一同心がけていますが、保護者様同士の繋がりへの機会の提供ができていないこと。	今後、お子様と一緒に参加できるイベントの開催や定期的な機会を作るよう今後定期的に提供していきたいと思えます。
2	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境づくり。	事業所として児童間の関わりやそこで生まれるコミュニケーションのキッカケづくりを強みに運営してきたが、児童の特性に応じて個室での対応が必要な際、相談室以外の場所がないこと。	今後、個室や仕切りのある空間を作るよう前向きに検討していきたいと考えています。内装についても検討中です。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会、事故や怪我、避難訓練、感染対策等。非常時の対応について。	非常災害時の避難場所や訓練については保護者様にお伝えするようになっているが、保護者様の家族支援に関する研修会の情報について周知する機会が少なかったと反省しております。	今後、非常時の対応についての周知の徹底、保護者様の家族支援に関する研修会の情報について積極的に情報共有し、機会をより提供できるように心がけていきます。